

# 初期設定（簡易マニュアル）


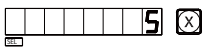


表示ユニット（カウンター）SDS6 シリーズは多機能のため、お使いになるスケールの分解能に、そして工作機械のタイプに合わせてシステムの初期設定を行う必要があります。初回のみで次回起動時以降は必要ありません。

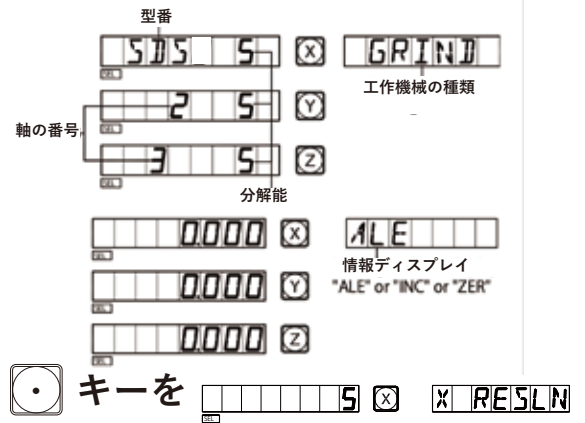
注意：使用する前にスケールのセンサー部を固定してするオレンジもしくは黄色のプラスチック固定具を外してください。このプラスチック固定具は、運送上センサーが自由に移動しないよう制限している物です。

1. 電源をいれます。

2. SDS6 シリーズのセルフチェックが開始します。

3. セルフチェックの途中で  キーを押します。セルフチェックが終了し、初期設定ができる状態になります。

\* 初期設定モードに入るため、電源を入れた瞬間に  キーを  S   が表示されるまで数秒間長押ししてください。



1) 各軸の分解能の設定（お使いのスケール分解能に合わせて入力します）  
スケール分解能が  $1 \mu\text{m}$  の場合は 1 を分解能が  $5 \mu\text{m}$  の場合は 5 を数字キーで入力します。以下の説明は  $5 \mu\text{m}$  の場合です（分解能  $5/1000 = 5 \mu\text{m}$  タイプ）。

数字キー  を押し、X 軸の分解能設定

 キーを押し、 キーで次へ

数字キー	0	1	2	5	7	8	9
分解能	10	1	2	5	0.1	0.2	0.5



Y 軸の分解能設定

X 軸の設定と同様です。

 キーを押し、 キーで次へ



Z 軸の分解能設定

X 軸の設定と同様です。

 キーを押し、 キーで次へ



2) 各軸を移動させた場合は + - の表示方向を設定します。実際は - 表示のみで + は表示されません。

使用して不都合の場合は再度設定してください。

 キーが、プラス（進む）方向

 キーが、マイナス（戻る）方向



X 軸の動作方向のカウントを設定します。

 キーを押し、 キーで次へ

Y 軸の動作方向のカウンタを設定します。  
X 軸の設定と同様です。

											0	X
											Y	DIR

 キーを押し、 キーで次へ

Z 軸の動作方向のカウンタを設定します。  
X 軸の設定と同様です。

											0	X
											Z	DIR

 キーを押し、 キーを機械タイプの選択画面に行きます。

### 3) 数字キーで機械タイプを選択します。

SDS6-3V カウンター

M	I	I	L	L	M	S
M	I	I	L	L	M	
			E	D	M	
			L	A	T	H

 多機能フライス盤用 (日本産フライス盤推奨設定)

 標準フライス盤用

 放電加工機用

 旋盤機用

M	I	I	L	L	M	S
M	I	I	L	L	M	
			G	R	I	N
			L	A	T	H

SDS6-2V カウンター

 多機能フライス盤用

 標準フライス盤用

 研磨機用

 旋盤機用

 ⇒  次のステップへ。

### 4) 旋盤で Y 軸、Z 軸合算計算の選択 (旋盤用 3 軸カウンタの場合限り)

 と  キーで切り替え出来る。

” NONE ” は合算しない

” INGREAT ” は合算して、合計値を Y 軸表示部で表示する。

注意 合算表示は 3 軸カウンタで旋盤用にセットした時、使用出来ます。

		N	O	N	E
		I	N	G	R

 ⇒  次のステップへ。

### 5) 補正方式の選択

補正には、リニア誤差補正と区間誤差補正があります。

 キーでリニア誤差補正を選択します。 ” LINEAR ”

 キーで区間誤差補正を選択します。 ” SEGMENT ”

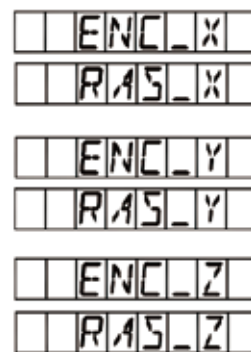
		L	I	N	E	A	R
		S	E	G	M	E	N

 ⇒  次のステップへ。

## 6) 軸の表示タイプを選択

- ① キーでリニアタイプ軸の表示を選択します。“RAS\_X”
  - ② キーでアングルタイプ軸の表示を選択します。“ENC\_X”
- ENT ⇒ ↓ 次のステップへ。

Y 軸 Z 軸も同様に設定します。



### 注意：

当方が販売するスケールの場合は必ずリニアタイプ “RAS\_” を選択してください。

## 7) 照明 (LIGHT) の調整

情報ディスプレイに “LIGHT” が表示されます。数字キーで照明の強弱を調整できます。

ENT ⇒ ↓ 次のステップへ。

## 8) ディスプレイ表示のテスト

- ① ② キーでディスプレイ表示のテスト OFF と ON の切り替えができます。ON の状態で全点灯しますので、ディスプレイの状態を確認できます。
- ↓ キーを 2 回押してセルフチェックがスタートします。
- ⊙ キーでシステムの初期設定を終了します。

★詳細取り扱い説明書は以下のウェブサイトからダウンロードできます★  
<https://www.degiscale.com/> 取り扱いマニュアル



ウシヤマ電機株式会社

〒156-0043

東京都世田谷区松原 3-40-7 パインフィールドビル 9F

TEL:03-5355-6231

FAX:03-5355-6232